

病院年報

令和4年度
(令和5年度発行)



出上市立
出水総合医療センター
Izumi General Medical Center





基本理念・基本方針・行動指針

基本理念

**私たちは良質な医療を提供し
市民に信頼される病院を目指します。**

基本方針

- 1 市民が必要とする地域医療の提供に努めます。
- 2 患者の立場に立った医療を行います。
- 3 地域完結型医療における基幹病院としての役割を果たします。

行動指針

- 1 患者に十分な説明を行い、同意のもとに医療を行います。
- 2 和の心を持って、チーム医療を行います。
- 3 常に向上心を持ち、協力して病院の改善に取り組みます。

出水総合医療センター

患者の権利と義務

患者さんは、人格を尊重されるとともに、健康になるために、自らの意思と選択のもと、最善の医療を受ける権利があります。

当院は、患者さんと病院職員がお互いの信頼関係に基づいて、患者さんとともに最善の医療を提供していこうと考えています。そのためには、患者にも医療に積極的に参加していただくことが必要です。

このような考えに基づいて、次のように「患者の権利」と「患者の義務」を定めました。

患者の権利

- 1 患者は、生命・身体・人格を尊重される権利があります。
- 2 患者は、平等な医療を受ける権利があります。
- 3 患者は、最善の医療を受ける権利があります。
- 4 患者は、診療に関して十分な説明を受ける権利があります。
- 5 患者は、自らの状況を理解するために、必要な情報を得る権利があります。
- 6 患者は、治療方法などを自分の意思で決定できる権利があります。
- 7 患者は、プライバシーが守られる権利があります。

患者の義務

- 1 患者は、自分の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者は、他の患者の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者は、医療費を支払う義務があります。

管理者挨拶



出水市病院事業管理者

鮫島 幸二（小児科医師）

出水市立出水総合医療センターの令和4年度の病院年報ができました。

日頃よりの当医療センターへのご指導、ご鞭撻には心より感謝申し上げます。

相変わらず新型コロナウイルス感染症は1年を通して流行し続け、エネルギー高騰も持続した1年でした。

令和4年度の経営状況は前年度と同様に年間を通じて新型コロナウイルス感染症空床確保事業補助金を活用したことにより経常収支は黒字を維持しました。しかしながらその一方、地域包括ケア病棟を感染症病棟として運用したことにより、急性期一般病床からケア病棟への転出が困難となり、急性期病棟は年間を通じて何度も逼迫した状況が発生しました。

また前年度同様に規模は小さいながらも病棟内クラスターがあり、入院患者の受け入れを制限する事態もありました。発熱外来においては7～8月や1月頃は1日70～130人ほどの患者が受診することもあり市中感染の蔓延と連動して逼迫した状況もありましたが、経営的にはその影響で外来収入が大幅に増加しました。

また施設面においては需要の多いリハビリ室を拡充しました。これは感染対策上密な状況でのリハビリを避けるため、旧MRI室をクラウドファンディングを活用して変換し、入院患者リハビリや外来患者リハビリのゾーニングの充実をはかりました。さらに病棟内クラスター拡大の一因になると考えた老朽化した空腸設備についてはできるところから部分的に改修を進め、次年度においては全館改修する予定です。

医師確保については4月から鹿児島大学医学部地域枠医師（内科系）の実務研修医が、10月からは一般内科医師（部長）が新規に赴任したことにより3名増となりました。

当院はまもなく創立100周年を迎えます。市民に安全と安心を提供できる病院として今後も職員一丸となって努力して参る所存です。引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

なお総務省は令和5年度（次年度）から5年間の持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院強化プランの策定を求めています。当院も出水地域の医療体制を持続的に確保するためのプランを、経営状況も加味して策定する予定です。

院長挨拶

出水総合医療センター

院長 花田 法久（外科医師）



令和4年度の年報発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

4月には多くの新たな仲間を迎えることになりました、令和4年4月に着任された医師を紹介いたします。小児科・太原鉄平先生、循環器内科・重本英二先生、稲田悠希先生、消化器内科・恒吉研吾先生、岩田大輝先生、松元琢真先生、腎臓内科・上村征央先生、整形外科・岩崎正大先生、中村美順先生、麻酔科・田尻晃彦先生、中筋あや先生、婦人科・月橋瑞希先生です。5月には外科・上村紀雄先生、10月に一般内科・伊藤寿樹先生、令和5年3月に小児科・鈴東昌也先生が赴任して下さい、それぞれ活躍しております。

コロナ禍での診療3年目に入りました。流行の波はありますが、7月からのいわゆる第7波は、当院にも大きな負荷がかかりました。発熱外来で一日95人の新型コロナ患者を診断したこともあり、週末も発熱外来を開けざるを得ない状況が続きました。患者同士の安全確保のため、予約診療にせざるを得ないですが、予約電話がパンク状態で診察できなかった患者さんも多数おられたことと思います。この場を借りてお詫び申し上げます。しかし、発熱外来も1日100人以上になると物理的に無理です。患者登録が簡素化され、開業医の先生方も積極的にコロナ診療に参加していただき、8月には一日のコロナ患者数が50～30人前後に減少してきました。年末から年始にかけての第8波流行時には、院内クラスターが発生しましたが、他院へ搬送することなく自院で対応しました。令和5年には感染症2類相当から5類へ移行することを前提とした、感染症診療と地域包括システムを意識した、地域医療の提供に舵をきることにしました。

5月には、全国で地域医療を実践、継続、発展させていくことを目標に活動する、志摩市民病院を中心とした地方創生医師団シンポジウムを、熊本の公立多良木病院と共同開催しました。「地域医療」をテーマにした、医療職や医学部生が中心となり、行政も巻き込んだシンポジウムです。地域医療が魅力ある、住民に近い、必要なものであるという当たり前のことを再認識し、当院の進むべき道や地域医療のあり方などを学ぶことができました。

自発的な組織改革を目指す、プロジェクトチームのワーキング活動も活発に継続中です。藤田リーダー、妙圓園サブリーダーの下、100人超が様々な改革を行っています。役職に関係なく、職種にも関係なく、フォロワーシップを発揮できる環境は、組織発展に大きく貢献しています。不満や問題がないわけではありません。それを言い合える心理的安全性の高い職場にすることが当面の目標です。さらに、接遇に沿った議論ができ、大義ある目標に向かって邁進する組織に発展していくことが、ここ数年の課題です。

認定看護師や特定行為看護師育成、医師だけにとどまらない働き方改革、DX化など、病院の課題は枚挙に暇はありませんが、それをみんなで解決していく仕事は、面白く、楽しいものと考えています。

当院は2025年、令和7年には創立100周年を迎えます。単なる通過点ですが、重みのある大きな通過点だと思います。いい形で迎えられるように職員一同努力してまいります。これからも出水総合医療センターを宜しく願い申し上げます。

目次

基本理念・基本方針・行動指針

患者の権利と義務

管理者挨拶

院長挨拶

1 病院の現況

(1) <u>病院概要</u>	10
(2) <u>病院施設、交通アクセス</u>	13
(3) <u>病院の沿革</u>	14
(4) <u>組織機構</u>	19
(5) <u>職員数</u>	20
(6) <u>院内会議組織図</u>	21
(7) <u>会議・委員会</u>	22
(8) <u>主な医療機器</u>	25

2 各部署の活動状

診療部

<u>内科系診療部</u>	29
<u>外科系診療部</u>	35
<u>中央手術室</u>	38

薬剤部

<u>薬剤科</u>	39
------------------	----

診療技術部

(1) <u>放射線技術科</u>	40
(2) <u>臨床検査科</u>	41
(3) <u>臨床工学科</u>	42
(4) <u>リハビリテーション技術科</u>	43
(5) <u>栄養科</u>	44

看護部

(1) <u>看護部総括</u>	45
(2) 病棟看護科	
1) <u>2病棟</u>	46
2) <u>3病棟</u>	47
3) <u>4病棟</u>	48
4) <u>5病棟</u>	49
5) <u>6病棟</u>	50

(3) 外来看護科	
1) <u>内科系</u> ……………	5 1
2) <u>外科系 (脳卒中センター(脳神経外科)、整形外科、皮膚科)</u> ……………	5 2
3) <u>外科系 (消化器疾患センター、救急外来)</u> ……………	5 3
4) <u>人工透析室</u> ……………	5 4
医療安全管理センター	
(1) <u>医療安全管理室</u> ……………	5 5
(2) <u>感染制御室</u> ……………	5 6
診療支援部	
<u>地域医療支援センター</u> ……………	5 7
事務部	
(1) <u>総務課</u> ……………	5 8
(2) <u>医事課</u> ……………	5 9

3 委員会活動

(1) <u>D P C ・ 保険診療検討委員会</u> ……………	6 1
(2) <u>災害対策プロジェクト部会</u> ……………	6 3
(3) <u>N S T 委員会</u> ……………	6 4
(4) <u>褥瘡委員会</u> ……………	6 6
(5) <u>放射線安全委員会・輸血療法委員会</u> ……………	6 6
(6) <u>がん治療委員会</u> ……………	6 7
(7) <u>クリニカルパス委員会</u>	
(8) <u>接遇委員会</u>	
(9) <u>医師等業務分担委員会</u> ……………	6 8
(10) <u>医療機器選定委員会</u>	
(11) <u>救急外来委員会</u>	
(12) <u>個人情報保護委員会</u> ……………	6 9
(13) <u>診療情報管理委員会</u>	

4 教育概要

(1) <u>初期臨床研修医感想</u> ……………	7 1
(2) <u>水曜勉強会実績</u> ……………	7 2

5 統計資料

医事統計

入院・外来	74
-----------------------------	----

部門別統計

(1) 手術・内視鏡部門	77
(2) 透析部門	78
(3) 救急外来部門	79
(4) 放射線技術部門	81
(5) 臨床検査・臨床工学部門	82
(6) 薬剤部門	83
(7) リハビリテーション・栄養部門	84
(8) 診療情報管理部門	85
(9) 地域医療連携部門	86
(10) 医療安全管理部門	87
(11) 健診部門	88

6 経営概要

(1) 損益計算書	90
(2) 医業収益構成表	91
(3) 医業費用構成表	92
(4) 貸借対照表	93
(5) 診療科別収益（税込）	95
(6) 経営・財務分析	96

7 活動報告等

(1) 第3回市民講座	98
(2) 出水圏域リハビリテーション広域支援センター活動報告	99
(3) 広報誌「ひまわり」発行記録	100
(4) 研究発表、論文	101
(5) 令和4年度WG（ワーキンググループ）活動	105
(6) 令和4年度活動写真	106